

高瀬神社 社報

越中一宮

第29号

平成23年4月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏

社頭講話

「巡り来る春に想う」

宮司 藤井秀弘

数年ぶりの大雪となった寒い冬が終わり、ようやく暖かな春の訪れを感じる季節となりましたが、先月十一日午後には東北関東大震災が発生し、甚大な被害がでました。春を待ちわびるワクワクするようなうれしい気持ちが一転して悲しい気持ちになってしまいました。被災された地域の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

巡り来る季節は大自然の一部であり、地震という災害も同様に自然の一部分であります。自然の営みというのは人間にとって良い面と悪い面の両方を持ち合わせているとつくづく感じさせられました。

かつて五箇山の中学校へ教員として赴任していたとき、寄宿舎に住んでいました。山間の冬の夜は静かですが、そのうちに降り

積もる雪に耐えきれず、木々の折れる音が聞こえてきます。寂しいような悲しいような、それは神々の降臨でないかと思われま

した。学校ではほとんど積もる雪を子供たちとグラウンドの真中で計測しました。すると五メートル近くもありました。待ちわびた春には、里からバスが登ってきて、久し振りのバスに子供たちが喜び、後を追いかけて行く姿を見ると、また春がやって来た、と思つたものでした。また、自分自身の中では、小学生の頃、先生が「春が来た」という歌をオルガンで弾いて、友達と一緒に歌つたことを思い出します。この歌は今でも無意識に口ずさんでしまっています。

春が訪れると動物・昆虫・植物などが子孫繁栄・種の継承のために一斉に活動し始めます。その一生懸命な姿を見るにつけ、我々人

間はどうかであろうかと考えてしまいます。自分のことを最優先する個人主義の社会となり、その結果、共同体意識が欠如した世の中となりました。社会全体で担ってきた子育てが出来なくなり、出生率も低下して未来の担い手が不足しています。このような状況が進化した社会といえるのでしょうか。

私たちの祖先は、自然の中に神々が住んでいると信じて生活してきました。山の神・水の神・風の神・木の神・田の神など八百万神の存在を常に意識して、廻り来る季節に応じて野山に出かけ、

神々の恩恵をうけて、その恵みに感謝を捧げました。季節ごとにすべき仕事が決まっております、それを一生懸命にこなすことが神々（自然）に報いる方法でもありました。現代に生きる人たちに「自然神様」というと、「ナンセンス」という答えが返ってきます。混乱ですが、そうではありません。混乱した今の世の中にあつて、生きる手段、命を継承していく方法をもう一度見直す時期にきているように思います。私たちの祖先が

歩んだ道を辿り、その心情を汲み取ることが大切なのではないでしょうか。

三月の初めに山里の春祭りへ行くと、家々の周辺は雪で埋もれています。氏子の人たちは南風（春一番）が吹くと早く消雪されるので風の神に雪解けを祈ります。また、山の斜面に残る雪の姿を見て農作物の豊作を占うなど、雪国の山里特有の自然神に対する祈りがあります。現代社会から見れば、非科学的なことと思われるかもしれませんが、科学では判断できない、信仰に裏づけられています。

人間は自然の一部です。科学万能という考え方はその通りかもしれませんが、人間の思いのままにならないこともあります。「信仰」という精神性と「科学」という実証性の両方が相まって、より良い社会となっていくものと考えられます。進んだ社会の中にあつても、自然の移り変わりを敏感に感じ取り、その中に神々を見出せるような豊かな心を育て、日々、報恩感謝の祈りを捧げながら生活したいものです。

寄稿

「伊勢神宮の能舞台に出演して」

玉井紀一

私が謡曲に出会ったのは、約

五十年前のことである。昭和三十一年、入社式における社長訓示の一つに「一生楽しめる趣味を持つこと」というのがあった。新入社員として配属された職場は高岡市内にあり、その職場の先輩（宝生流の謡の先生・・・ノンプロ）から手ほどきを受けた。職場の異動に伴い謡の先生は何人も変更となるが、同じ宝生流のため違和感はなかった。

ある程度それなりに謡えるようになると、欲が出てきて、謡の先生の勧めもあり、プロの先生に稽古をつけて頂くことになる。昭和四十一年から宝生流シテ方・大坪十喜雄師（喜雲会主宰、南砺市福野出身、東京都在住、重要無形文化財保持者、平成五年一月逝去、享年八十四歳）に師事。昭和五十四年十月から宝生流シテ方・大坪喜美雄師（喜扇会主宰、横浜市在住、重要無形文化財保持者、大坪十喜雄師の養嗣子）に師事、今日に至っ

ている。

丁度一年前の平成二十二年四月八日（木）高瀬地区老人クラブ連合会主催の高瀬神社境内清掃奉仕・金婚奉告祭・高瀬高齢者教室に参加した。祭典終了後の講話の中で、藤井秀弘宮司より本殿に飾ってある、伊勢神宮の宇治橋の欄干（架け替えに伴い撤去された部材）の一部（丸太）について、お話しがあった。伊勢神宮の大宮司より藤井宮司が種々の功により賜ったものであると、私は感激して聞いていた。そして、もし私が大宮司にお会いする事があったら、この感激を申し上げようと、密かに思っていた。

式年遷宮記念、喜雲会・喜扇会大会が平成二十二年五月十一日（火）、伊勢神宮内宮の参集殿能舞台において開催され、富山県連合喜扇会（高桑哲夫会長）の一員として参加した。バス二台で八十名余りが参加（全国各地から約二百名参加）。参集殿

の場所については、藤井秀嗣権宮司より事前に地図を頂戴していたので、随分と助かった。新しく架け替えられた立派な宇治橋を渡り、参集殿へと向った。能舞台と見所との間は、玉砂利が敷いてあり趣が感じられた。私が出演した番組と、大宮司が出演された番組は次のとおり。

玉井紀一

満 仲 前田長孝 西井元吉

地 桶谷安宏 竹内敬俊 渋谷幸照
田中正則 川原善夫 高桑哲夫
可西正親 島田 徹 砂田一夫
川田義昭 山本磯明 平田悦春

十徳会

保科正興

鶴 亀 上杉邦憲

保科雅子 鷹司尚武
松平智子 松平頼武
大坪和子 徳川恒孝
松平豊子 前田利祐
鷹司久美子 松平宗紀
上杉紀美子

十徳会は大坪師が指導されている。

鷹司大宮司の出演は、私の二番後だったので、ご挨拶のタイミングは私の出番の数番前と判断し、大坪師に紹介して頂いた。大坪師からは、確か「私の弟子

で富山の玉井だ」と紹介されたように思う。私は、本大会参加のお礼、越中一の宮高瀬神社を口にし、藤井宮司が賜った宇治橋欄干の丸太を話題にお話しすることが出来た。思っていることの半分も言えなかったが、藤井宮司について親しみを込め懐かしそうに話しをして頂いた。大宮司は気さくな方と、お見受けした。

素謡・満仲の出演は無事終り、富山からの参加者全員まとまって、内宮正式参拝して来た。

今回の伊勢神宮能舞台出演は、鷹司大宮司にお会いできたことで、大変思い出深いものとなった。



前列左から2人目（本人）

祭事暦

節分祭

去る二月三日、氏子・崇敬者約五十名の参列のもと「節分祭」が斎行されました。

祝詞奏上につづき神楽「剣の舞」が奉奏され、宮司以下神職・巫女が福柵を手に「福は内、鬼は外」の掛け声で豆を撒きました。

また本年も祭典に先立ち、巫女二名が「高瀬保育所」に出向き、園児に「福豆」を手渡ししました。



紀元節祭

去る二月十一日、「紀元節祭」が斎行され、神武天皇の御威徳を讃え、日本の建国を祝い、更なる隆昌を祈念しました。

宮司祝詞奏上の後、頌歌「紀元節」を奉唱し、福野松風会



(山口尚岳会長) 会員二十二名による吟詠が奉納されました。

(奉納曲)

・御本社

「山居」(藤原惺齋)

「戊子の夏諸生と月を見て偶成る」(中江藤樹)

「蛩を観る」(大槻磐溪)

「夏初桜祠に遊ぶ」(廣瀬旭莊)

「夏日偶成」(三浦英蘭)

「初夏」(司馬光)

「紅葉館にて饗飲席上率に賦す」(國分青厓)

功靈殿

「海南行」(細川頼之)

「夏の夜」(江馬細香)

祈年祭

去る二月十七日、「祈年祭」が斎行されました。

宮司の祝詞奏上、巫女による「浦安の舞」につづき、本年も

岳風流井波松風会(小橋外喜雄代表) 会員八名により吟詠の奉納がありました。

また、岩倉勘幸氏の遺作である木彫「獅子頭」の奉納があり、奉納者の岩倉雅美氏(井波彫刻協同組合理事長)に、宮司より感謝状と記念品が贈呈されました。

(奉納曲)

「立山の」(昭和天皇御製)

「立山を望む」(國分青厓)

「新しき」葛井諸会

「初夢」本宮三香



鎮火祭

去る三月八日午前十時より、寺西孝志南砺市消防署井波庄川出張所長以下関係者約二十名が参列し、「鎮火祭」が斎行されました。

境内斎場では、本殿で熾された「忌火」を用いて着火し、岩倉清孝南砺市消防団井波方面団第五分団長以下団員が火具(水・砂・川菜)で鎮火し、一年間の火の災いが無いよう祈念いたしました。



平成二十三年 初詣

昨年は寒波の影響で、吹雪を伴う荒天の正月でしたが、本年は冬型の影響を受けることもなく、比較的穏やかな元日を迎え、三が日は約十九万三千人（昨年十五万人）の人数で境内は賑わいました。

本年の干支は「卯」であり、「なでうさぎ」には長い行列が出来、大勢の方が干支にちなむ授与品を受けられました。

本年も南砺警察署をはじめ、関係各位のご協力により、事故もなく初詣期間を終えることができました。

また年末の十二月二十三日には、「天長節祭」に併せ「初詣巫女認証式」が斎行されました。



一月三日、「福野糸瓜句会」（梅島くにを会長）が開催されました。奉納句は次の通りです。

神木を洩るる初日やさざれ石
 雪雫して百年の芭蕉堂
 三人のそれぞれの吉初みくじ
 鳥居まで初詣客並びたる
 なでうさぎ撫でて卯年の初詣
 冬晴れや一村つつむ初神楽
 初雪を片へに寄せてさざれ石
 玉の陽の木々にあふるる三日かな
 凛々と振る巫女の初神鈴
 老杉の下の祠や淑気満つ
 穏やかに明けゆく御空三日かな
 着ぶくれて今年も句座に居る至福
 電子音初湯沸きしと伝ふなり
 踏み出せし竹刀の一步初稽古
 緋袴の鈴の音清し初神楽
 姉妹誰からとなく初笑
 金屏や舞初扇かざしけり
 鎮もりし産土の杜除夜詣
 福藁の踏まれし程の福重ね
 薄墨の筆の力や賀状書く

梅島くにを
 若土 白羊
 宇波可津志
 平野 孝純
 北川 越草
 名村 五月
 波多 昌子
 長谷 登世
 森松 和子
 野原すみ子
 高桑 昌女
 森田 桂子
 山下しのぶ
 窪田 悦子
 佐々木春子
 三浦 葉子
 武田東洋子
 北川 秀子
 櫻井 恵子
 山田利喜代

防火避難訓練

去る一月二十三日、「第五十七回文化財防火デー」にあわせ、境内に於いて消防避難訓練が行われました。

氏子の方々が見守るなか、南砺消防署井波庄川出張所・南砺市消防団井波方面団指導のもと、参集殿配膳室からの出火を想定し、職員による自衛消防隊・高瀬神社協力会による初期消火・通報・避難誘導・非常持出しの訓練を行いました。

また駐車場では、氏子の自主防災会も加わり、消火器取扱訓練が行われ、参加者一同は緊急事態が発生した際に備え、真剣な面持ちで訓練に臨んでおりました。



シリーズ

高瀬の今昔

いまむかし

⑧

「節分祭のこと」

陰気な冬が去り再び陽春が来ることを「一陽来復（いちようらいふく）」と言いますが、暦の上で新たな春を迎える時節、節分は日本人が特に大切にし、子供達が心躍らせ楽しみにしている一日でもあります。

本来節分は立春・立夏・立秋・立冬前一日の事を表わしますが、古くは一日が夜からはじまり、立春から新年が始まるという考えから、春の節分を指すようになりました。「三寒四温（さんかんしおん）」、季節の変わり目となるこの時節は、肉体的にも精神的にも不安定な時期でもあり、その隙間を狙ってくる疫鬼の災いが多いことから、家庭では災厄を祓い幸せを願う

節分行事が行われ、全国の神社でも節分祭が執り行われるようになりました。

この節分祭とは、四季が巡り年始めの春を迎えるにあたり、一年が平穏無事な年であるよう願う神事で、除疫の民間行事に伴って起った祭事として、室町中期以後、各地の神社で盛んに行われるようになりました。以来、民間の豆撒きの習俗と、追儺（ついな）・疫病や災難などを追い払うため、大晦日に宮中で行われた鬼を追う儀式）とが習合し、現在の節分の神事になったといわれています。

当神社では昭和三十六年二月三日に初めて節分祭（豆撒き）が斎行されており、以来毎年、氏子崇敬者へ大國様の御神徳（福）が授かるよう、厳粛に節分祭を執り行っております。

（権禰宜 長谷川宏幸記）



参 拜 日 誌 抄

(平成二十二年十二月)

平成二十三年二月・敬称略

「十二月」

四日

砺波地区共同企業体

(安全祈願)十五名

八日

平成二十三年初詣打合せ会

(初詣安全祈願祭)

十一日

神社庁砺波支部(例会)

十三日

(株)富士技建(安全祈願) 十名

二十三日

初詣巫女認証奉告祭

「一月」

一日

責任役員藤井義雄

高瀬区長長井利彬

砺波市消防団庄川方面隊

(株)ドラッグフジイ社長 藤井 均

(有)棚田建設

(株)美砺商建

若鶴酒造(株)

砺波市消防団庄下分団

(株)オータニ

(株)姫野精工所

南砺市消防団井波方面団

二日

砺波市消防団柳瀬分団

砺波市消防団太田分団

根尾建設(株)

境自動車(株)マツダオートザム砺波

野原建設(株)

成和建设(株)

成建運輸(株)

高岡石産(株)

成和興産(株)

(社)とらみ青年会議所

(株)パナコム

コムコム

(有)タケシン

(有)南山自動車工業

(有)アグリおがわ

池田工業(株)

ダイエー商事(株)

信栄金型(株)

三日

(株)ゴールドウイン会長 西田東作

(株)越路ガーデン

(株)山崎

(株)シバタ建築設計事務所

福野糸瓜句会

福光運輸(株)

(有)佐々木運輸

とらみ観光交通(株)

サクラ交通(株)

東砺倉庫(株)富山営業所

南砺市消防団福光方面団第五分団

四日

米原商事(株)

北陸ローディング(株)

若林遺族会

川田工業(株)

今井重機建設(株)

砺波信用金庫

(有)才川造園土木

(有)マツイ・コーポレーション

北陸電気工事(株)とらみ野工事所

(株)佐藤渡辺砺波営業所

川田建設(株)

第一編物(株)

(株)エイゼット

(株)アートジョイ

丸一工業

(株)環境総合テクノス庄川営業所

庄川興業(株)

大和トランスポート(株)

イルカ交通(株)

第一産業(株)

高陵タクシー(株)

(株)浅野観光

(有)北陸電気保安協会とらみ野事務所

笹嶋工業(株)

(株)北國銀行砺波支店

(株)北陸銀行井波支店

農事組合法人ファーム八乙女

戸出運輸(株)

東砺運輸(株)富山営業所

住友生命保険相互会社福光支部
(株)昭電北陸支店

五日

(有)昭信機工

(株)なぎさ交通

(株)鳶ティーツー

たち建設(株)

たち建設運輸(株)

(株)創和開発

(株)北陸銀行庄川支店

(株)キセキ北陸砺波営業所

(株)橋梁メンテナンス

(株)かんてんエンジニアリング庄川営業所

(株)富山第一銀行井波支店

セندگان電子(株)

(株)藤井組

チューリップアスコン(株)

第一交易(株)

第一交易(株)安全互助会職友会

得能建設工業(株)

(有)拓コーポレーション

(株)横川組

(有)清水重建

石黒自動車工業(株)

吉井工業(株)

(株)神能工務店

(株)ジャスト・ドウ・イット

井波大建工業(株)

大建工業(株)住機製品事業部

サンエー建工(株)

(有)中元組

第一レンタル(株)

第一プロデュース(株)

第一トラスト(株)

(有)第一ワークス

- 松本建設(株)(砺波市)
 - 梅本建設工業(株)
 - 木村産業(株)
 - (株)高清組
 - パナソニックエレクトロニクスデバイスジャパン(株)
 - (株)得能組
 - 和光商事(株)
 - 清沢造園(株)
 - 形川研工業
 - (株)日本ビルサービス
 - 日ビル商事(株)
 - (株)リペア
 - (株)神下組
 - (株)齊藤組
 - 笹谷工業(株)
 - 丸七商事(株)
 - (株)喜八食品
 - ホクリク住材(株)
 - プチドリー
 - (有)土田電気
 - 日本板硝子ビルディングシステム(株)北陸センター
 - (株)松本土建
 - (株)寺田
 - ユースン建設(株)
 - 米原商事(株)車両管理部
 - 山ワ建設工業(株)
 - (株)ビックモーター石崎
 - 大輝設備
 - 日本通運(株)砺波支店
 - 日の出屋製菓産業(株)
 - 日の出屋製菓産業(株)本社工場
 - 日の出屋製菓産業(株)さくら屋福光本店
 - 日の出屋製菓産業(株)本店工場
- 六日
- (有)森田電気商会
 - 森田建設(株)
 - (有)窪田農産
 - (株)鶴弥丸福支店
 - 砺波重機(株)
 - タカハタ工業(株)
 - 北陸電力(株)となみ野営業所
 - 北陸電力(株)利賀営業分所
 - (株)北陸電力リビングサービスとなみ野営業所
 - (株)沖田組
 - 宗景造園
 - (株)砂土居造園
 - 大和リゾート(株)砺波ロイヤルホテル
 - (株)富山クボタ戸出営業所
 - 上田工業(株)
 - 三栄自動車工業(株)
 - (有)さつき堂
 - (株)富山クボタ南砺営業所
 - (株)富山クボタ高岡南営業所
 - (株)富山クボタ井波営業所
 - (株)福光石工
 - (株)オーテクト
 - 東レ・テキスタイル(株)井波工場
 - 津田工業(株)富山工場
 - (有)ファームズエンジニア福光
- 七日
- 市堰建工(株)
 - (株)ホンダロック富山工場
 - 片山工業(株)
 - 協立アルミ(株)
 - 協立アルミ(株)井口工場
 - (株)南砺工業所
- 八日
- パナソニック環境エンジニアリング(株)
 - 千代田機電(株)砺波営業所
 - 普明会教団高岡支部
 - 日枝神社 宮司 平尾旨明
 - 富山県神社庁 録事 松尾 樹
 - 飯田石材(株)
- 十日
- 辻建設(株)南砺支店
 - 辻建設(株)災害防止対策協会南砺支部
 - 高瀬青友会
 - 中山工業(株)
 - 高桑工業
- 十一日
- 射水神社 宮司 松本正昭
- 十二日
- 陸上自衛隊富山駐屯地
 - (株)高桑工務店
 - (株)高桑工務店桑栄会
- 十三日
- 富山県神社庁長 尾崎定輝
 - 富山県護国神社 宮司 梅野守雄
- 十四日
- 富山神社前立社壇 宮司 佐伯 勉
- 十五日
- 南砺市遺族会井波支部
- 十六日
- 高宝会
 - 瀬謡会
 - 立正佼成会高岡教会
 - 三五教富山主会
 - 大誉研磨(株)
- 十八日
- 石黒建設(株)北陸支社
 - 富山石黒会
 - 石島(株)
 - 越中井波八乙女風神太鼓
 - 二十一日
 - 福光急便(株)
 - 福光産業(株)
 - 二十三日
 - 神社庁砺波支部(新年例会)
- 【二月】
- 一日
- 富山県電気工事工業組合南砺支部
- 五日
- 熱実山
- 八日
- コマツNTC(株)
 - (株)ダイエスケイ
 - トヤマ機工(株)
- 十三日
- 宇夫階神社
- 二十日
- 宮司 宮本守也 以下三十七名
 - 神社庁砺波支部(例会)

※一月一〜三日の初詣団体参拝につきましましては予約参拝をさされました方を記載させていただきます。尚、誤りがございましたら社務所までお申し付け下さい。

全国一の宮会のこと

役員会開催

去る三月七日、讃岐国一宮田村神社（香川県高松市鎮座、池田博文宮司）におきまして、「全国一の宮会（会長飯田清春真清田神社宮司）役員会」が開催されました。

正式参拝につづき、飯田会長が議長となり予算決算・二十三年度事業計画が協議されました。

尚、本年は阿波国一宮大麻比古神社（金倉文雄宮司）に於いて、「平成二十三年度総会」が九月五日～六日の日程で開催されることとなりました。



献穀田のこと

本年も井波地域中核農業士協議会（松井俊明会長）により、「高瀬神社献穀田」をご奉仕いただきます。

本年の奉耕者は岩崎修氏に決定し、南砺市岩屋の水田で耕作されることとなりました。

去る三月二十五日に種籾の清祓式が行われ、豊作を祈念しました。

五月二十一日に「御田植祭」九月中旬に「抜穂祭」が斎行され、収穫された初穂は十一月二十三日の「新嘗祭」で御神前にお供えされます。

また十月十七日には、伊勢の神宮での「神嘗祭」に「懸税」として奉納されます。



（本年奉耕者）
岩崎 修氏
南砺市岩屋在住

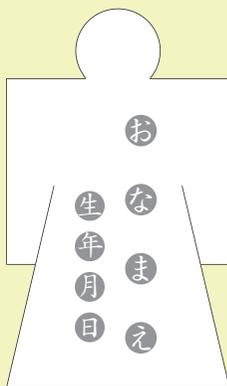
「平成二十三年夏越の大祓」の御案内

なごし おおはらえ

日時 六月三十日（木）午後三時より

「大祓」は知らず知らずのうちに犯した罪穢を半年に一度祓い落として元の清らかな心身に戻り、続く半年も健全に過ごせるようにと願う神事です。

拜殿にて「大祓詞」が奏上され、各人が「人形」に罪穢を移し、特に「夏越の大祓」は前庭に設けられた「茅の輪」をくぐり、心身を清浄にもどします。これからの暑い夏を健康に乗り切るための大切な神事です。どうぞご参列下さい。



※ご希望の方には案内状と人形を送付いたしておりますので、社務所までおたずね下さい。

ご案内

第十三回 人形感謝祭

古くなった日本人形やぬいぐるみに感謝し、おわかれする「人形感謝祭」を本年も斎行いたします。

・日時 七月十七日(日)

午前十時より

・受付 午前九時より十時まで

※当日のみ受付

・初穂料 社務所へおたずねください。

祭典にあわせ、「第十一回人形展」も開催する予定です。

いぬ 戌の日(安産祈願)

四月一日・十三日・二十五日

五月七日・十九日・三十一日

六月十二日・二十四日

腹帯のお祓いを行いますので
ご持参下さい。

奉納

○「金一封」

東京都港区六本木

富士マネジメント(株)

中島 康晃殿

平成二十三年一月一日

○「ひな人形」

南砺市山下

南部 栄殿

平成二十三年二月一日

○「ひな人形」

砺波市太田

宮脇 正秀殿

平成二十三年二月六日

○木彫刻「獅子頭」

南砺市本町

岩倉 雅美殿

平成二十三年二月十七日



○「液晶テレビ」

南砺市蓑谷

杉本絵里香殿

平成二十三年三月三十一日

辞令

巫女 杉本絵里香

願いにより巫女を免ずる

(平成二十三年三月三十一日付)

見習巫女 今井映里奈

見習い巫女を命ずる

(平成二十三年四月一日付)

この度の東北地方太平洋洋沖地震で被災されました皆様へ、衷心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社では、毎日の復興祈願祭や義捐金活動等を通じて出来る限りの支援を進めてまいりたく存じますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

宮司 藤井 秀弘

編集後記

この冬は記録的な大雪に見舞われ、御社殿をはじめ建物などの被害が心配されました。ようやく雪解けしたと安堵したところで大地震がやってきました。改めて自然の恐ろしさを痛感いたしました。被災された皆様へ衷心よりお見舞い申し上げます。

本号に玉井紀一氏より寄稿をいただきました。紙面をお借りして深謝いたします。

【表紙写真】

御神山「牛嶽」と桜並木



越中一宮 高瀬神社がお届けする わん 「一」んだふるDay's



ブライダルフェア&相談会のご案内

4月

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

「和」かわいいフェア 10時～17時

神前式説明・会場見学・
演出体験・見積相談
5/3(火)・4(水)・5(木)



一の宮フェア (神前式リハーサル体験会)

①13時～ ②14時～ ③15時～

4/1(金)・11(月)・21(木) 5/1(日)・11(水)・21(土)・31(火)
6/1(火)・11(土)・21(火)

先輩カップルの結婚式&披露宴会場見学会

4/9(土)・17(日)・23(土)・29(金)・30(土)
5/14(土)・22(日)・28(土)・29(日) 6/4(土)・5(日)

平日ご婚礼相談会 10時～16時

「和」んだふるフェア 10時～17時

神前式説明・会場見学・
演出体験・見積相談・
ドレス試着など
6/18(土)・19(日)



ご婚礼 結納 お祝い包装

田島のし店

田島真由美

〒939-1368 富山県砺波市本町7-14
Tel & Fax 0763-32-2520

人生儀礼・ご祈禱の御案内

「人生儀礼」とは、人がこの世に生まれ、一生の間に行う神事儀式の事です。人の一生には様々な節目があり、神様にこれまでの成長を感謝すること、新たな決意と飛躍につながります。皆様も、祖先から伝えられた人生儀礼を大切に、感謝の心を持って生活しましょう。

・**安産祈願** 犬の安産にあやかり、妊娠五ヶ月目の戌の日にお参りし、母体の安全と無事な出産を祈ります。

・**出産、お七夜祝い** 誕生七日目に名前をつけ、命名書を神棚に供え神様に奉告します。

・**初宮参り** 赤ちゃんが神社に初めてお参りして、無事な誕生を感謝し、健やかな成長を祈ります。

・**お食初め** 生後百日頃に行い、健康長寿を祈願します。

・**初節句** 女児三月三日（桃の



節句)、男児五月五日（端午の節句)、幸せに健康であるよう祈ります。

・**七五三詣** 三歳の男女（髪置き)、五歳の男児（袴着)、七歳の女児（帯解き)

・**入学卒業の祝い** 感謝のお参りをし、学業成就を祈ります。

・**髪上祝** (女子十三歳)

・**元服祝** (男子十五歳)

・**結婚式、結婚記念日**

・**厄除(厄祓)** 男性二十五、

四十二、六十一歳、女性十

九、三十三、三十七歳は、身

体的、肉体的に転換期といわ

れ、この年とその前後(前

厄・後厄)には災厄を除ける

厄除(厄祓)をします。

・**身祝(賀の祝)** 還暦(六十

一歳)、古希(七十歳)、喜寿

(七十七歳)、傘寿(八十歳)、



半寿(八十一歳)、米寿(八十八歳)、卒寿(九十歳)、白寿(九十九歳)、上寿(百歳)

などの節目には、神社にお参りし、一家揃って長寿をお祝いします。

ご祈禱に際しまして、ご神前に相応しい服装でお参り下さい。



拜殿床改修工事のお知らせ

来る六月十三日から二十九日(予定)までの期間、拜殿におきまして床改修工事を実施いたします。この間、ご祈禱は本殿隣の功霊殿にてご奉仕いたします。ご参拝の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。